

「ノバルティス・リウマチ医学賞」

● これまでの受賞者(敬称略)

- 第1回(1990年) 平野 俊夫
大阪大学医学部 教授
バイオメディカル教育研究センター腫瘍医学部門 腫瘍病理学研究部
テーマ:リウマチの発症機序とIL-6
- 第2回(1991年) 池原 進
関西医科大学病理学第一講座 教授
テーマ:骨髄移植による慢性関節リウマチ治療に関する基礎的研究
- 第3回(1992年) 西岡 久寿樹
聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター 教授
テーマ:成人T細胞白血病ウイルスによる関節炎発症機構の解明
ー慢性関節リウマチの病因解析モデルー
岩倉 洋一郎
東京大学医科学研究所ウイルス感染研究部 助教授
テーマ:成人T細胞白血病ウイルスによる関節炎発症機構の解明
ートランスジェニックマウスによる分子生物学的検討ー
- 第4回(1993年) 小池 隆夫
北海道大学医学部内科学第二講座 教授
テーマ:膠原病の血栓性病変と抗カルジオリピン抗体に関する研究
- 第5回(1994年) 笹月 健彦
九州大学生体防御医学研究所遺伝学部門 教授
テーマ:慢性関節リウマチの発症を規定する遺伝要因の解明
- 第6回(1995年) 橋本 博史
順天堂大学医学部膠原病内科 教授
テーマ:全身性エリテマトーデス(SLE)の母親から出生する
児の転帰・予後と治療法に関する研究
- 第7回(1996年) 森本 幾夫
東京大学医科学研究所ウイルス疾患診療部 教授
ハーバード大学 内科 Visiting Professor
テーマ:ADA結合蛋白CD26のT細胞免疫機能への役割
ーその遺伝子工学的・生物学的解析
- 第8回(1997年) 山本 一彦
九州大学生体防御医学研究所臨床免疫学部門 教授
東京大学大学院医学系研究科 教授
テーマ:新しい方法論を基にした慢性関節リウマチの病因抗原の同定

- 第9回 (1998年) 岡田 保典
慶應義塾大学医学部病理学教室 教授
テーマ：マトリックスメタロプロテアーゼによるRA関節破壊の分子機構
- 第10回 (1999年) 吉崎 和幸
大阪大学健康体育部健康医学第一部門 教授
テーマ：サイトカイン産生異常の分子・遺伝子制御
ー慢性関節リウマチ、キャッスルマン病等をモデルとしてー
- 第11回 (2000年) 宮坂 信之
東京医科歯科大学医学部第一内科 教授
テーマ：慢性関節リウマチにおける滑膜増殖機構の解明と遺伝子治療による人為的制御の試み
- 第12回 (2001年) 後藤 眞
都立大塚病院リウマチ膠原病科 医長
テーマ：ウエルナー症候群遺伝子 (WRN:RecQ 型 DNA/RNA ヘリカーゼ) による強皮症徴候発現機構の解析
- 第13回 (2002年) 宮澤 正顯
近畿大学医学部 教授
テーマ：抗 gp70 自己抗体移入による肉芽腫性血管炎の発症機序
- 第14回 (2003年) 林 良夫
徳島大学歯学部 教授
テーマ：リウマチ性疾患における病因抗原の解明と臨床応用へ向けた基礎的研究
- 第15回 (2004年) 高柳 広
東京医科歯科大学大学院 分子細胞機能学 特任教授
テーマ：関節リウマチ骨破壊の制御に関する研究
- 第16回 (2005年) 中島 利博
聖マリアンナ医科大学 難病治療研究センター 副センター長/教授
テーマ：タンパク質分解システム異常症としての関節リウマチ
- 第17回 (2006年) 小守 壽文
長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 教授
テーマ：Runx2による軟骨細胞・骨芽細胞の分化機序の解明
ー変形性関節発症機序の解明に向けて
- 第18回 (2007年) 能勢 真人
国立大学法人愛媛大学大学院 医学系研究科 教授
テーマ：膠原病の病像多様性のポリジーンネットワーク
- 第19回 (2008年) 上阪 等
東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究所 膠原病・リウマチ内科准 教授

テーマ：サイクリン依存性キナーゼ阻害による関節リウマチ新治療法の開発

- 第20回（2009年） 塩沢 俊一
神戸大学大学院医学研究科内科学講座 教授
テーマ：関節リウマチの新規治療薬c-Fos/AP-1阻害薬の開発研究
- 第21回（2010年） 西本 憲弘
和歌山県立医科大学 免疫制御学講座 教授
テーマ：リウマチ性疾患に対するIL-6受容体阻害治療
- 第22回（2011年） 松本 功
筑波大学大学院 人間総合科学研究科 疾患制御医学専攻臨床免疫学 准教授
テーマ：関節リウマチの発症メカニズムの解明とその制御
- 第23回（2012年） 浅原 弘嗣
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科システム発生・再生医学分野 教授
テーマ：システムアプローチによる関節形成メカニズムの解明と
リウマチ病態解析への応用
- 第24回（2013年） 梅原 久範
金沢医科大学 血液免疫内科学講座 教授
テーマ：IgG4関連疾患の病因病態関連蛋白および関連遺伝子の探索
- 第25回（2014年） 中島 友紀
東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 分子情報伝達学分野 准教授
テーマ：破骨細胞を起点とした骨破壊の制御機構の解明
- 第26回（2015年） 安友 康二
徳島大学大学院医歯薬学研究部生体防御医学分野 教授
テーマ：リウマチ性疾患における免疫制御の破綻機構に関する研究
- 第27回（2016年） 右田 清志
国立病院機構長崎医療センター 病因解析研究部長
テーマ：家族性地中海熱含めた自己炎症疾患の病態解明と治療法の開発
- 第28回（2017年） 土屋 尚之
筑波大学医学医療系教授
筑波大学大学院人間総合科学研究科生命システム医学専攻長
テーマ：日本人集団における膠原病共通の疾患感受性および抵抗性HLAハプロタイプの同定
- 第29回（2018年） 南木 敏宏
東邦大学医学部内科学講座膠原病学分野 教授
テーマ：炎症細胞遊走阻害による関節リウマチ新規治療開発
- 第30回（2019年） 吉富 啓之

京都大学ウイルス・再生医科学研究所 准教授

テーマ: Human Sox4 facilitates the development of CXCL13-producing helper T cells in inflammatory environments (ヒトSox4は炎症環境下でCXCL13産生T細胞の分化を促進する)

(所属、役職は受賞当時)